

CONTENTS

- ② **被爆60周年を迎え**
～平和への願い～
- ⑥ 地域審議会の開催状況のお知らせ
- ⑦ 自治振興会の紹介
- ⑧ **TOPICS&NEWS**
各地区での催し
- ⑫ 神石高原のいきいき農業
- ⑬ 油木高校ジャーナル/交番だより
- ⑭ 保健福祉センターだより
- ⑮ 町からのお知らせ
- ⑯ 暮らしのインフォメーション
- ⑰ **図書館だより**
- ⑱ バスケットニュース
- ⑲ お誕生・お悔やみ
- ⑳ **今月生まれのお友達**



夜のトマト団地

(今月の表紙)
トマト団地で本格的な収穫が始まりました

被爆六十周年を迎え

平和への願い

被爆六十周年を迎える今年も、人類史上初の原子爆弾が投下された広島では、多くの人々が今なお深い悲しみと苦しみにさいなまれています。

終戦から半世紀以上経過し、戦争を体験された人々も高齢となり、歴史は風化しつつあります。また世界では、現在もテロや紛争などが起こり、核兵器開発など平和を脅かす危険な行為がたくさんあります。

被爆六十周年という節目の今こそ、平和について改めて考えてみなければならぬと思います。





文学碑

黒い雨

映画化、ドラマ化されるなど優れた文学作品であるとともに、私たちに改めて平和の尊さを訴えかけた井伏鱒二の代表作「黒い雨」。その主人公「関岡重松」のモデルは、旧三和町に生まれ育った実在の人物です。生家のあった場所のほど近く、つつじが丘公園に建てられた文学碑を前に、いままへへの祈りが尽きることはありません。

原爆「黒い雨」に学ぶ

〓 三和中学校生徒〓

六月二十三日(木)三和中学一年生の生徒が、総合学習の時間に三和地区の歴史・文化などを現地では学ぶフィールドワークをしました。四つの班に分かれ、それぞれ指導者となった住民の方々から歴史や案内してもらいました。

その中で「黒い雨」を学ぶ班は、小説の舞台となった場所などを訪れました。まず重松文宏さん宅を訪ね、小説ができるまでの井伏氏と重松さんとのやりとりされた話や、重松さんが日記を書く為に愛用していた万年筆、眼鏡などを見てもらいました。



その後、つつじが丘公園の文学碑や井伏氏の筆による役場前の史跡碑を見ました。井伏氏の碑は全国に四つあり、その内二つが三和にあります。最後に小説の最終章に登場する乱塔池に行き、この日の学習を終えました。

重松さんは、「今日、学んだ事はすぐ理解できないかも知れませんが、またいつか黒い雨に出会う事があるでしょう。その時には、今日の事を思い出して、戦争や原爆の醜さを他の人にも伝えてもらいたい」と締めくくられました。



生徒の感想

- ・戦争は絶対いけないので、二度とないように思った。
- ・黒い雨の最後を知ることができ、良かった。
- ・小説の悲惨さが伝わり、現地に行ってよく理解できた。
- ・学んだ事をみんなに伝えていきたい。



平和で豊かな社会の実現は、全世界の人々の願いである。この崇高な理念の達成なくして、神石高原町が目指す「人と自然が輝く高原のまち」づくりの実現もまたありえない。

しかし今日もなお、世界の情勢は地域紛争が頻発し、核の存在は世界平和と人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

神石高原町は、被爆県に存する自治体として、核兵器の恐ろしさ、被爆者の今なお続く苦しみを思うとき、この地球上で再び広島・長崎の惨禍を繰り返させてはならない。

神石高原町民は生命の尊厳を深く認識し、非核三原則の堅持を願うとともに、一刻も早い核廃絶と世界の恒久平和を希求し、ここに非核平和自治体であることを宣言する。



非核平和自治体 宣言のまちに

語り継ごう 走り継ごう ヒロシマの心

第24回反核平和の火リレー

7月4日(月)～5日(火)の2日間、神石高原町で反核平和の火がリレーされました。45名のランナーが、町内を平和への願いを込めて反核平和の火をリレーしました。4日は降り続く雨の中で府中市上下町から引き受け、翌5日には、庄原市東城町へ無事リレーする事ができました。平和の火リレーは、広島県全市町を878区間、1,015.3kmを多くのランナーによって走り継がれます。



庄原市東城町へバトンタッチ



雨の中走り継ぎました

被爆60周年記念行事

県内各地で、被爆60周年記念行事が行われます。みなさんそれぞれ関心がある行事に参加し、平和について考えてみてはどうでしょうか。

朗読劇「この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ」

60年前に広島と長崎で起きた出来事を体験した当時の子ども、母親が綴った手記・手紙・詩などから構成されています。

- 日 時 8月1日(月) 18:00～19:30
- 会 場 広島平和記念資料館・メモリアルホール
- 入場料 無料
- お問合せ先 広島市市民局国際平和推進部平和推進担当
☎ (082) 242-7831

被爆60年・旧日銀せこへい美術館 (旧日本銀行広島支店)

「子ども」と「平和」にふさわしい作品をつくり、世界に核と戦争のない21世紀の実現をアピールします。

- 日 時 8月11日(木)～8月19日(金) 10:00～19:00
- 入場料 無料
- お問合せ先 広島市市民局文化スポーツ部文化担当
☎ (082) 504-2500